

お申込み要領

- お申込みは、下記「参加申込書」に必要事項をご記入の上、下記「お問い合わせ先」メールアドレスまたは FAX 番号までご連絡ください。また、右下の QR コードリンク先 Web ページからもお申込みいただけます。いずれも、申込書受領後、確認のご連絡を差し上げます。
- 参加のご案内および請求書は、開催 1 ヶ月前よりお送りいたします。
- お申込み後、ご参加できなくなった場合は、代理の方にご参加いただくことも可能です（5 日間通してご参加いただける方）。代理の方のご参加が難しい場合は、8 営業日前までにご連絡ください。それ以降はキャンセル料を承ります。キャンセル料算定基準は以下の通りとなります。

	キャンセル料
開催8営業日前まで	なし
開催7営業日前～4営業日前	参加料の30%
開催3営業日前～1営業日前	参加料の50%
開催当日・不参加	全額

お申込み・ご案内ページリンクQRコード
<https://www.jpc-net.jp/seminar/detail/004505.html>



■ お問い合わせ先 ■

公益財団法人 日本生産性本部 経営アカデミー
 技術経営領域担当 吉田/角田

〒100-0005 東京都千代田区丸の内 1-6-2 新丸の内センタービル 6 階
 TEL: 03-5221-8455 FAX: 03-5221-8479

【個人情報の取扱いについて】

公益財団法人日本生産性本部では、皆様の個人情報を以下のように取扱いします。下記の内容をご確認の上、派遣責任者の方はご参加者の同意を得られたことを確認の上お申し込みをお願い申し上げます。なお、同意いただけない場合は、適切なサービスを受けられない場合がございます。同意いただいた後でも個別に不同意の表明をすることが可能です。

- 利用目的 (本セミナーに関する各種連絡、資料等の作成・配布、会合開催当日やチーム討議での利用) ②日本生産性本部主催のシンポジウム・セミナー等のご案内 以上の目的以外で個人情報を利用する場合、ご本人に個別理由を説明し同意を得た上で行うものといたします。
- 個人情報の第三者提供について: 個人情報は、あらかじめ皆様の同意をいただくことなく、外部に提供することはありません。ただし、当日講師、参加者等の関係者に限り名簿等を配布させていただきます。
- 業務委託について: セミナーの運営にあたり、業務の一部を外部に委託しております。委託先に対しては、参加者へのサービスに必要な個人情報を委託します。日本生産性本部の選定基準に基づき委託先を選定し、契約により個人情報の保護を徹底するとともに、委託先に対して適切な管理・監督を行います。
- 皆様の権利個人情報について、ご本人による開示請求・訂正・削除・利用停止等を求めることが可能です。その際は、以下までご連絡ください。
 連絡先: 公益財団法人日本生産性本部経営アカデミー: 03-5221-8455 (公益財団法人日本生産性本部 個人情報保護管理者 総務部長)

公益財団法人日本生産性本部 経営アカデミー 技術経営領域担当 行 2020年 月 日

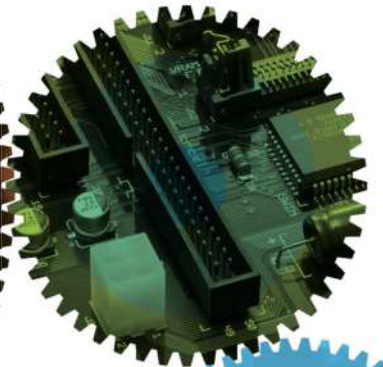
研究開発マネジメントリーダー養成プログラム 参加申込書

貴社名	(いずれかに○をつけて下さい) ・ 賛助会員 ・ 一般	
〒所在地		
	お名前 (ふりがな)	ご所属・お役職
ご連絡担当者	〒	
	TEL:	E-mail:
ご参加者①	〒	
	TEL:	E-mail:
ご参加者②	〒	
	TEL:	E-mail:
備考		

FAX: 03-5221-8479

2020 研究開発 マネジメントリーダー 養成プログラム

研究開発の高い成果と効率化を両立させる
 マネジメントをめざして



ねらい

研究開発部門でリーダーシップを発揮するためには、
 自部門だけでなく、自社における
 研究開発部門に対するニーズや、グローバル市場の動向など、
 全世界的な視点から方向性を見出し、自職場、自部門として
 自社を動かす力が求められます。
 本研修では、理論と実践の両面から学ぶことで、
 右の3つの力を養成することを目的とします。

開催概要

■ 日程 (全3セッション、合計5日間)

- 第1セッション 10月30日(金)・31日(土)
- 第2セッション 11月13日(金)・14日(土)
- 第3セッション 12月12日(土)

■ 対象 技術や研究開発部門、ならびに事業企画や経営企画部門のマネジャー及びリーダー
 技術・研究開発部門のマネジメントに携わる新任マネジャーやマネジャー候補の育成、
 またベテランマネジャーの振り返りとしてご活用ください。

■ 会場 公益財団法人 日本生産性本部 経営アカデミー
 東京都千代田区丸の内 1-6-2 新丸の内センタービル 6 階
 (JR 東京駅 丸の内北口 徒歩 3 分)

■ 参加費 日本生産性本部 賛助会員 291,500円
 一般 335,500円

※ご好評を頂いておりました「研究開発マネジャー研修」は、ご参加の皆様のご意見をもとにコンテンツの改良を行い、本プログラムへ生まれ変わりました。引き続きご派遣ご検討の程、お願い申し上げます。

*お一人様あたり、消費税・資料代を含みます。
 *賛助会員の詳細につきましては事務局までお問い合わせ下さい。



公益財団法人 日本生産性本部

実務家や他社研究開発部門の方々との議論を通じた刺激ある研修環境を実現します

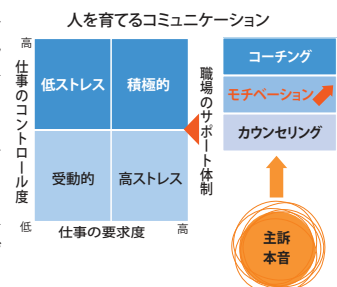
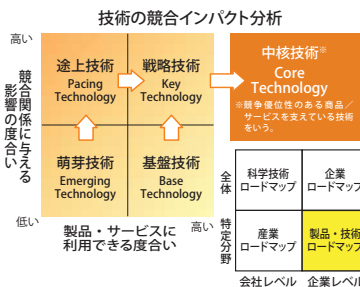
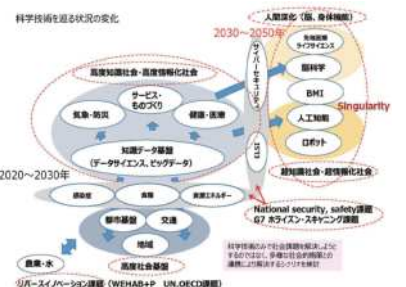
※各セッション講師や講義内容、開催日程は都合により変更になる場合がございます。
 ※社会情勢の変化等により、急速オンライン配信（Zoom）での開催に変更となる場合がございます。

第1セッション:コミュニケーション力向上		第2セッション:中長期R&Dマネジメント		第3セッション:イノベーション推進
10/30 (金) 10:00 ~ 17:00	10/31 (土) 10:00 ~ 15:00	11/13 (金) 10:00 ~ 17:30	11/14 (土) 10:00 ~ 15:00	12/12 (土) 10:00 ~ 17:30

コミュニケーション力向上 → 実務家講演及び対話 → 中長期R & Dマネジメント → 実務家講演及び対話 → イノベーション推進

 公益財団法人日本生産性本部 グローバルマネジメントセンター 経営開発ユニット担当部長 三浦 哲 氏	 アサヒクオリティアンドイノベーションズ(株) 社長付シニアエキスパート 川村 公人 氏	 東北大学 名誉教授 立命館大学大学院 テクノロジー・マネジメント研究科 教授 長平 彰夫 氏	 一般財団法人大阪大学産業科学研究協会 (元昭和電工株式会社 CTO、 文部科学省技術参与) 塚本 建次 氏	 滋賀医科大学 バイオメディカル・イノベーションセンター 特任教授 (元ソニー(株) 本社 R&D 戦略部 シニア R&D マネジャー、CTO 補佐) 小笠原 敦 氏
--	---	--	--	--

学習項目 <ul style="list-style-type: none"> ● 管理者に求められる役割と能力 ● 人材育成の考え方 ● ロールプレイング「R&D職場における人事課面談」 ● メンタルヘルスとコミュニケーション ● 実践事例研究と対話による深堀り(実務家講演) 	学習項目 <ul style="list-style-type: none"> ● 経営戦略に関する基礎理論 ● 経営戦略立案のステップ ● 討議 S社の事業戦略・研究開発戦略 ● 技術の戦略的マネジメント ● ロードマッピング 	学習項目 <ul style="list-style-type: none"> ● 戦略実践の実例紹介及び対話による深堀り(実務家講演) ● 研究開発の問題点 ● イノベーションとは何か ● サービスイノベーション ● 討議 3Mの研究開発 ● 研究開発評価、ステージゲート法
---	---	---

<p>講義紹介① コミュニケーション力向上:「人を育てる」 三浦 哲 氏</p> <p>研究開発部門のライン・マネジメントと方針展開に不可欠な知識とスキルを、事前課題とセッション当日のロールプレイングを通じた実践を交えて、学習します。</p> <p>特に、組織の活性化やメンバーのモチベーションを最大限引き出すために有効なカウンセリング・マネジメントの考え方と技法、ライン・マネジャーに求められるリーダーシップとマネジメントサイクルを再確認します。</p> 	<p>講義紹介② 中長期R & Dマネジメント:「戦略的に考える」 長平 彰夫 氏</p> <p>戦略に関する基礎理論をおさえ、戦略立案のステップ、技術戦略策定プロセス、技術ポートフォリオ・マネジメントの学習を通じて経営戦略の中での技術や研究開発の位置づけを考えます。</p> <p>ケーススタディ「S社の事業戦略・研究開発戦略」の討議を通して理解を深めるとともに、実践への応用を図ります。</p> 	<p>講義紹介③ イノベーション推進:「市場と技術の長期トレンドを読む」 小笠原 敦 氏</p> <p>世界的な技術・産業政策の潮流を把握し、イノベーションの本質と日本企業の研究開発の問題点を正しく理解すると同時に、研究開発の創造性と効率性をどうやってマネジメントしていくかのポイントについて、3Mの研究開発のあり方と施策の有効性に関する議論を通して検討していきます。</p> 
--	---	--

[主な参加企業] ● 組織名 (50音順) (旧・技術経営マネジャーコース、及び旧・研究開発マネジャー研修の参加を含む、企業名は参加当時)

アサヒビール、アサヒグループ食品、味の素、アステラス製薬、育良精機、出光興産、宇部興産、NEC ディスプレーソリューションズ、エヌ・イーケムキャット、NIT コムウェア、FCM、オキサイド、オムロン、オリエンタルランド、オリンパス、キッコーマン、キッコーマンソイフーズ、キッセイ薬品工業、キリンビール、キーレックス、キヤノン、杏林製薬、共和電業、クラレ、国立印刷局研究所、コニカミノルタテクノロジーセンター、小林製薬、サッポロビール、サントリー、サントリースピッツ、JFE スチール、JFE 精密、JNC、塩事業センター、資生堂、清水建設、シャープ、昭特製作所、昭和産業、新東工業、神鋼環境ソリューション、住友大阪セメント、住友ゴム工業、住友精化、スウェンソン、ジャトコ、造幣局、タキロン、ダイキン工業、大日精工工業、大日本スクリーン製造、大日本住友製薬、大日精工工業、大豊工業、大鵬薬品工業、武田薬品工業、竹本油脂、田島ルーフィング、中国電力、中部電力、電源開発、デンカ生研、デンソー、東亜合成、東京インキ、東芝、東光高岳、トクヤマ、名古屋電機工業、南条装備工業、日産化学工業、日鐵住金建材、日清オイリオグループ、日東分析センター、日本ガイシ、日本化薬、日本金属、日本合成化学工業、日本コルマ、日本触媒、日本信号、日本水産、日本ゼオン、日本製紙、日本自動車部品総合研究所、日本電気硝子、日本特殊陶業、日本発条、日本ビストリリング、ハウスバーナ・ゼノア、ハウス食品、日立ハイテクノロジーズ、富士フィルム、フタバ産業、双葉電子工業、プリチストン、ベックマンコールター、本田技術研究所、マークテック、マルハニチロホールディングス、ミマキエンジニアリング、三菱鉛筆、三菱重工業、三菱電機、村田機械、メルテックス、安川電機、雪印メグミルク、横浜油脂工業、リケン、ロッテほか

[参加者の所属部署・役職例]

- 研究開発本部・研究開発部: 取締役、研究所統括マネジャー、マネジャー、部長、課長、係長、人事戦略室など
- 技術本部・技術開発部: 執行役員 企画本部長、副本部長、部長など
- 総合研究所・総合技術研究所・先端技術研究所: 研究所長、研究開発課課長、主席研究員、主任研究員など
- 企画本部・研究調査部など: 係長、新事業PJプロジェクトリーダー、R&D 企画室 課長、人事部 グループマネジャー、技術統括室 室長、生産技術センター 部長など